

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	ひたちなか市 82210
地域名 (地域内農業集落名)	佐野・田彦中地区 (高野・佐和・稻田・高場・田彦)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	154.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	141.06 ha
② 田の面積	79.68 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	74.82 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	20.16 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.6 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	93.05 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	73.15 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における○才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するよう努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

①地域の基礎的データ【令和6年度現在】

○担い手(認定農業者)の人数

- ・高野: 1人(うち70歳以上1人)
- ・佐和: 4人
- ・稻田: 2人(うち70歳以上1人)
- ・高場: 4人(うち70歳以上1人)
- ・田彦: 1人

○主な作物

水稻, 甘藷

②現状及び課題

【高野】

- ・担い手が高齢化、不足しており、後継者も不足している。
- ・担い手がわからない。

【佐和】

- ・担い手が高齢化している。
- ・小さな農地が分散している。
- ・耕作放棄地が増加している。

【稻田・田彦】

- ・耕作者が高齢化しており、後継者が不足している。
- ・市街化している。(新しい住民との関係)

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

露地栽培による甘藷や水稻を主要作物としつつ、地域の特産物であるほしいもを安定して生産できる地域を目指す。

【高野】

- ・若手耕作者を育成する。
- ・法人化、農業団体の設立を検討する。

【佐和】

- ・農業法人へ委託する。
- ・佐和地区に相応しい基盤整備をする。
- ・境界区域の統合による集約化を図る。

【稻田・田彦】

- ・後継者を育成する。
- ・農地を集約する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構を活用し、担い手(認定農業者)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	14 %	将来の目標とする集積率	14 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

農地中間管理機構、農業委員会と連携し、担い手(認定農業者)に農地の集積・集約化を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組

【高野】

- ・農地集積、集約に向けた地域のリーダーを作る。
- ・耕作者の意向を把握する。
- ・大字(集落)単位でまとめる。

【佐和】

- ・大規模農化へ委託する。
- ・農作物ごとに集約する。

【稻田・田彦】

- ・担い手を中心に段階的に集約する。
- ・担い手の情報交換会を開催する。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

農地の集積・集約化の方針及び担い手の意向を踏まえ、農地中間管理機構を活用しながら段階的に集積・集約化を進める。

(3) 基盤整備事業への取組

【高野】

- ・基盤整備、補助金の勉強会を開催する。
- ・耕作者を中心とした団体の設立を検討する。

【佐和】

- ・全ての地権者の意向を把握し、佐和地区に相応しい基盤整備をする。
- ・基盤整備、補助金の勉強会を開催する。
- ・農道を整備する。

【稻田・田彦】

- ・担い手の意向を把握する。
- ・農道を整備する。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

【高野】

- ・新規就農者を確保・育成する。
- ・若手耕作者の勉強会を開催する。

【佐和】

- ・行政、JAと連携し情報を共有する。
- ・リタイヤ世代も巻き込んだ新規就農者の育成を図る。

【稻田・田彦】

- ・行政、JA、農業高校を連携する。
- ・地域での情報交換会を開催する。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

【高野】

- ・耕作する農業法人を作る。
- ・法人ではない農業集団を作る。

【佐和】

- ・JA作業委託を積極的に活用する。
- ・委託専門業者を法人化する。

【稻田・田彦】

- ・JAを通して作業委託する。
- ・作業委託料を明確化(見える化)する。
- ・新規就農者へ農機具をレンタルする。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

注1:「属性」欄には、認定農業者は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2、「**「耕地面積」「作業受託面積**」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の耕地面積、作業受託面積を記載してください。

3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業

5.備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努め
経営面積に含めてください。

（業者欄には、農業を担う旨として位置付けられた旨に干渉の争点に備えて、代理契約に利用する旨を記載するよう求めています）

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人) うち計画同意者数(人・%)

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注1:「農用地所有者」欄には、世帯主の農用地所有者、
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

目標地図 佐野・田彦中地区 令和7年6月11日

